

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

（5月中に記入）

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野		くらし分野		担当課		建設課・水道課・市民生活課				
	政策分野		社会基盤・環境		課長名		上妻敏男・高橋英樹・川畑利昭				
	施策		1 快適な生活環境の整備			重点施策の該当		R2	-	R3	-
施策の目的	対象	市民、来訪者		意図	環境に負荷が少なく、便利で快適な生活を送ることができる						

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移					最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和1年度実績値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	
住みよいまちと感じている人の割合(%)	76.2	74.4	73.1	76.3	73.1 (77.5)	78.0	

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		令和1年度実績		令和2年度実績		令和3年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
82.4	43.9	85.6	43.0	84.6	40.7	85.1	38.6		
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
76.2	20.2	82.1	18.2	80.3	16.5	81.5	10.2		

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連 戦略 No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移					最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度目標値	
住環境の整備		住んでいる住宅に不便を感じている人の割合(%)	10.2	9.2	11.6	10.6	10.1 (9.2)	9.2	
住環境の整備		空き家に対する苦情件数(件)	4	3	3	4	2 (3)	3	
水の安定供給		有収率(%)	82.25	79.56	79.44	78.74	78.58 (82.29)	82.30	
水の安定供給		水道使用料収率(%)	98.69	98.6	98.49	98.21	98.63 (98.73)	98.75	
道路整備の充実		市道改良率(%)	59.8	59.8	59.8	59.8	59.8 (59.9)	60	
港湾整備の充実		補修対象施設数(施設)	56	56	54	53	50 (51)	50	
地域特性を生かした景観づくり		あっぱ～らんの利用者数(人)	43,006	41,042	38,472	39,007	29,660 (38,000)	40,000	
地域特性を生かした景観づくり		都市公園利用者数(人)	32,190	31,000	31,000	31,400	33,450 (32,000)	33,000	
環境衛生対策の推進		合併処理浄化槽の年間設置基数(基)	82	74	95	76	70 (100)	100	
環境衛生対策の推進		単独処理浄化槽からの年間設置替え基数(基)	10	5	7	5	13 (10)	47	
環境衛生対策の推進		火葬設備のトラブルの件数	8	0	0	0	0 (0)	0	
自然環境の保全		美化活動によるごみの収集量(t)	38	50	50	30	51 (30)	30	
自然環境の保全		市民一斉海岸清掃参加者数(人)	1,800	2,021	1,800	0	0 (2,000)	2,000	
適正な廃棄物処理		可燃ごみの収集量(t)	2,800	2,783	2,791	2,759	2,663 (2,680)	2,800	
適正な廃棄物処理		資源ごみの分別収集品目(品目)	13	13	13	13	13 (13)	13	
適正な廃棄物処理		不法投棄報告件数(件)	37	31	23	15	9 (15)	15	

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	・生活仕様の多様化による利便性の追求と社会基盤施設の老朽化や災害に対する危機意識の高まりによる安全性確保のため、施設整備への要望は多く、迅速な取り組みと適正な維持管理が求められており、緊急性や優先度、効果を見極めながら行動する必要がある。
[水道課] 基本事業No.2	・給水人口の減少に比例して全体の料金収入は今後減少していくことが予想される。また、施設の老朽化が進み更新が必要な施設が増加していくため、施設の更新と更新資源の確保が必要なため、水道事業の厳しい状況が続く。健全な水道事業を継続させるため、施設更新計画や経営戦略に基づく計画的な事業運営が必要である。
[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	・合併処理浄化槽について、平成28年度から令和2年度の循環型社会形成推進地域計画では5年間で500基の設置を計画していたが、実績は397基であった。要因としては、人口減少、高齢化等が考えられる。 ・令和2年度末の汚水処理人口普及率は59.5%である。

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の実行へ～

施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題		
	成果	現状・課題
[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	・西之表市公営住宅等長寿命化計画に沿って、桜が丘団地の改修や必要な修繕を行った。 ・道路や橋梁、漁港、港湾等の整備を進めると共に、設計や用地測量の業務を行った。 ・あっぱ～らんどでは、ふれあい館の空調設備の修繕を行い、快適な利用が可能となった。	・市営住宅では老朽化やバリアフリー化未対応など居住水準の低い住宅が存在しており、建替えや改修を計画的に行う必要がある。 ・道路や橋梁、漁港、港湾等の整備については、多くの要望があるが財源の制約もあり、全てに対応できていない状況である。 ・あっぱ～らんどや都市公園では、指定管理者やまちづくり公社と連携の取れた維持管理水準の確保が求められている。
[水道課] 基本事業No.2	・漏水事故防止と有収率向上のために、ここ数年漏水修理の頻度が高かった路線の配水管布設替工事を行った。また、阿曾浄水場で各水道施設の運転状況を集中監視することにより、漏水箇所の早期発見につながっている。	・管路全体の更新率は低い状況にあり、耐震化を含めた施設整備を計画的に実施する必要がある。
[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	・海岸漂着物等地域対策推進事業について、これまで6月頃からの実施期間となっていたが、令和2年度からまちづくり公社へ委託することにより通年の実施が可能となった。	・海岸漂着物については、大半が市外で発生したものであると考えられるため、市内での発生抑制対策により漂着物を減少させるのは困難である。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)	
継続・現状維持	[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	・社会資本整備事業(交付金)を活用して市営住宅や道路、橋梁、漁港、港湾、公園等の整備を進めつつ、施設の長寿命化を図るため補修や修繕を行うなど、効率的な維持管理に努める。
継続・現状維持	[水道課] 基本事業No.2	・水道事業の経営の方針である、西之表市新水道事業ビジョン(経営戦略)により、その方針に沿った事業経営を行う。また、経営基盤である水道料金の収納率を高い水準で維持する。
継続・現状維持	[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	・平成28年度から令和2年度の循環型社会形成推進地域計画では年間100基の設置を計画していたが、過去の実績、人口の減少、高齢化等を加味し、令和3年度から令和7年度の計画では年間75基とした。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中旬に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
継続・現状維持	【産業振興部会】 ○施策担当課の記載する方向性のとおり。 ・水道ビジョンで示されている事業の計画は何年度から始まるか。→令和4年度からの計画となっているが、1年先送りしている。用地の取得等課題がある。
継続・現状維持	【市民福祉部会】 ○施策担当課の記載する方向性のとおり。